

「コロナ災害を乗り越える いのちと暮らしを守る なんでも電話相談会 ～住まい・生活保護・労働・借金 etc…～」【第3弾】実施後の報告

2020年8月19日（水）「新型コロナ災害緊急アクション」第二次活動報告会
なんでも電話相談会実行委員会事務局 弁護士 猪股 正

1、第1弾（4月18日、19日：緊急事態宣言中）

- ・開催地域 25 地域・31 会場
- ・電話回線 125 回線
- ・相談員数 延べ598 人
- ・相談件数 5009 件（42 万アクセス、接続率 1.6%）
- ・特徴
 - ① 自営業（582 件）、個人事業主・フリーランス（462 件）の方々からの相談が多数
 - ② パート・アルバイト（317 件）、派遣（139 件）、契約社員（103 件）、正社員（216 件）と全ての働く人からの相談
 - ③ 「外出自粛・休業要請で仕事と収入が途絶え、今月又は来月の家賃（自宅・店舗）やローン（住宅・事業）が支払えない。生活費も底をつく」という切迫した相談が多く、相談種別では、生活費問題（2723 件）が突出、労働問題（669 件）、健康問題（257 件）、住宅問題（234 件）と続いた。
 - ④ 労働では、休業手当、解雇・雇い止めに関する相談が多数

▶「新型コロナ労働・生活総合ホットライン」（5月2日、3日：緊急事態宣言中。生存のためのコロナネットワーク主催）

- ・参加団体 労働組合、生活支援団体計 18 団体
- ・相談件数 322 件
- ・特徴
 - ① 会社都合による休業（105）、解雇・雇い止め（57）、会社のコロナ対策の不備（三密など）（39）、生活困窮（136）
 - ② 非正規雇用からの相談が多く、コロナの影響が非正規に集中
 - ③ 補償不十分なまま休業が長期化、転職時期とコロナが重なって失業が長期化→深刻な生活困窮状態に陥っている人が急増
 - ④ 4月18日からの約2週間で、所持金が尽きる人が増加し、住居喪失者も増え、生保申請同行、食料支援等、各地で緊急出動が必要になった。
 - ⑤ 生活保護は受けたくないという相談が目立った。

▶「休業補償・解雇・倒産電話相談ホットライン」（5月31日、6月1日：5月25日に

緊急事態宣言が全国で解除された後。生存のためのコロナネットワーク主催)

- ・相談件数 360 件
- ・特徴
 - ① 会社都合による休業 (243)、解雇・雇い止め (99)、
 - ② 非正規雇用からの相談多数 (261 件、72.5%)
 - ③ 女性の相談多数 (男性 123、女性 223、不明を除く)
 - ④ 産業別では、小売・飲食店の労働者が最も多く (105)、観光業 (54)、製造業 (35) も目立ち始めた。

2、第 2 弾 (6 月 6 日：緊急事態宣言解除後の 2 週間近く経過した土曜日)

- ・開催地域 47 都道府県・95 会場
- ・電話回線 197 回線
- ・相談員数 延べ 772 人
- ・相談件数 1217 件
- ・特徴
 - ① 第 1 弾に比べ、相談件数が減少。緊急事態宣言解除、不十分ながら幾つかの支援策が動き始めてたこと、報道量の差もあったからか相談数は減少したが、それでもなお 1217 件という非常に多くの相談
 - ② 非正規を中心とする労働相談の増加。パート・アルバイトからの相談が 10.0%から 22.9%へと 2 倍以上に増加
 - ③ 高齢労働者からの相談の増加。70 代以上の高齢者からの相談が、第 1 弾 20.3%から第 2 弾では 25.7%に増加。
典型的な相談は、無年金・低年金のためパート・アルバイト等で働いていた高齢者が、生活していけない、というもの
 - ④ 「生活保護は使いたくない」という忌避感を示す人が少なくなかった。
 - ⑤ 国の施策を評価する声が 21%減り、評価しない声が 5.8%増え、第 1 弾、第 2 弾を通じて、制度の構築や支援金の支給がとにかく遅いから早くしてほしいという、不満や要望が多数寄せられた。

▶「休業補償・解雇・倒産電話相談ホットライン」(7 月 5 日。生存のためのコロナネットワーク主催)

- ・相談件数 102 件

3、第 3 弾 (8 月 8 日：Go To トラベルキャンペーンが 7 月 22 日から前倒しスタート後)

- ・開催地域 41 都道府県・72 会場
- ・電話回線 135 回線

- ・相談員数 延べ512人
- ・相談件数 239件（途中集計）
- ・特徴（事例を資料として添付）
 - ① 生活費相談が約半数（115）、次いで労働相談が多い（76）。
 - ② 自営業者、フリーランスからの相談も続く（41）。
 - i カラオケ店など、自営業者の苦境継続。家賃の滞納。
 - ii テナント料の不払い等による経営難
 - iii 旅行会社。持続化給付金、貸付等で何とか維持。GO TO トラベルが機能しない中で追い詰められている状況
 - iv フリーランスの苦境も続く。持続化給付金が入ったが減少していく中での不安
 - v 持続化給付金について、未だに、「コールセンターにつながらない」「書類不備の理由不明、説明なし」「申請から1か月半たってもまだ支給されない」
 - ③ 労働者では非正規が67、正規が27
 - ④ 引き続き、休業手当不払いの相談が多い。
 - i 新設の休業支援金については、使用者との関係悪化を恐れて利用に踏み切れない、使用者が休業指示の事実を認めない、大企業のため休業支援金を申請できず困っているといった相談など
 - ii シルバー人材センターから紹介、派遣されている労働者から、休業手当が支払われないとの相談が第3弾以前からも目立つ。
 - ⑤ 整理解雇、大企業での産休中の退職勧奨など、解雇・雇い止めの相談が続いている。
 - ⑥ 郵便局など職種によっては、コロナで業務過多となり、体調を崩して退職に追い込まれる事例
 - ⑧ テレワーク等に切り換えに伴う給与削減等、労働条件の切り下げ
 - ⑨ 医療機関の労働者の賞与カット、休日を減らすなどの就業規則の不利益変更
 - ⑩ 経済が動き出した中で、使用者が、コロナ感染防止のための安全配慮義務を果たさない（従業員へのマスク着用指示や消毒液の備付もなく、時差出勤等もない等）との相談
 - ⑪ 生活相談
 - i 緊急事態宣言後に失職、求職活動をしても仕事が見付からず、失業が長期化
 - ii 入ってきた給付金や貸付金が次第に減少していく状況、尽きた後への不安の相談
 - iii 総合支援資金や住居確保給付金の延長支給に関する相談
 - iv 世帯内の複数の働き手が、コロナで同時に、収入減で、世帯全体が危機的だとの訴え
 - v コロナでサラ金から借金して自転車操業
 - vi コロナによる収入減で家賃滞納
 - vii パート等で生活費を補填してきた低年金、無年金高齢者が、仕事を切られ、生活困窮へ

viii 残業減少による収入減、奨学金の支払いが苦しくなっている。

- ⑫ 生活保護への忌避感、窓口での申請拒否
- ⑬ インターネットを使えない高齢者が情報や制度から阻害されている状況

4、今後に向けて

- (1) コロナ感染拡大に関連する解雇・雇い止め4万人超。1か月で1万人増（7月29日時点）。うち、製造業が7003人と最多で、宿泊業を抜いた。
4～6月のGDPはマイナス27.8%、1980年以降、過去最大の落ち込み。輸出（前期比▼18.5%）と個人消費の落ち込み（マイナス8.2%）
- (2) 生活保護申請は4月に急増、社協貸付（緊急小口資金、総合支援資金）の申請殺到し、過去4か月で78万円（リーマンショック後の3年間では約20万5000件）、住居確保給付金も申請急増（例えば、大阪市で2019年度は1年間で93件、2020年度は4～6月中旬で4600件）。
 - 生活保護への忌避感、窓口の運用等を背景に、生活保護ではなく、社協貸付や給付金に頼っている状況
 - 生活保護は一時的な支給。尽きていっており、今後、ついに尽きたときが問題
- (3) コロナの感染がさらに拡大して緊急事態宣言となれば、4月、5月の相談殺到時の状況を超える可能性。
緊急事態宣言とならなくとも、輸出の回復等は早期には望めず、今後も、失業者増等が続く可能性
 - 特別定額給付金、持続化給付金等の臨時的、一時的措置では、混乱、早期に合理的な対応困難
 - 生活保護の要件・運用、フリーランス支援も含めた雇用保険のあり方、住宅支援策、学生支援策、相談窓口の整備、現金給付から現物給付への転換、地方自治体の交付金拡充等、中長期的な視野で大きな制度設計が必要
- (4) 先行き不透明だが、今後も、何度も相談会を継続実施
今回は10月10日（土）、次々回は12月に実施見込み

以上

特徴的な事例

No.	種別	相談内容
1	事業	カラオケスナックを自営。数か月前から客が全く来ない。仕事は続けたいが借金しても返済できるか不安。
2	事業	カラオケ店を営業しているが、客が減少して家賃も滞納している。持続化給付金以外に使える制度はありませんか。
3	事業	フリーランス（通訳）で仕事が激減している。
4	事業	フリーランス、コロナで契約解除。生活苦しい。持続化給付金は申請したが他に給付制度はないか。
5	事業	フリーランス、コロナで仕事が減少した。何か制度はないか。
6	事業	ツアーガイドだが、コロナで仕事がない、資格を生かした仕事をしたい
7	事業	公庫などからの融資額では足りず、経営を立て直すことができない。
8	事業	収益物件を所有。コロナにより店子の家賃を減額した。一方で、持続化給付金対象外と言われた。生活が心配。
9	事業	商工会議所から500万円の貸付を受けたが、消費者金融から口座を差し押さえられた。材料費などに充てるつもりであった。
10	事業	旅行会社経営。貯金切り崩し、持続化や貸付け、なんとか維持しているが、他に何か利用できるものはないか。Gotoトラベルはまったく仕事にならない。未だに給付金事務局が立ち上がっていない。誰のためのなんの政策か
11	事業	70歳女性。夫と二人暮らし。4月に店舗を貸していた全国チェーンの接骨院が倒産してしまった。倒産した接骨院は、備品等を店舗に置いたまま。月33万円の家賃収入がなくなり、年間100万円ほどの固定資産税や市県民税が払えない状態で、生活に困っている。
12	事業	建設請負。濃厚接触者として2週間働けず収入減少。持続化給付金は確定申告しておらず。特別給付金程度では。妻が出産したばかり。
13	労働	会社からの指示で、時短勤務となり、時給制なので、会社に休業補償求めたが、支払ってくれない。
14	労働	教育機関に勤める。登園児童が少なく、休業指示。休業補償制度があるはずだと伝えるも、経営者不機嫌に。関係悪化はさせたくないが。
15	労働	インバウンド向けドラッグストア勤務。シフト減らされ、閉店舗も。休業支援金を申請したいが、契約書なし、タイムカードもない。未払残業問題もあって問題が多い経営者。
16	労働	ホテルの装花のアルバイトをしているが、コロナの影響で3月末から自宅待機が続いている。休業手当が全く払われない。企業規模は大きく、休業手当の直接給付の制度は対象外。
17	労働	休業が続いて収入がなく、住宅ローンの支払いに困っている。副業も禁止されている
18	労働	ひとり親家庭で、今年の4月子どもの学校休業により、仕事を休まざるを得なくなった。
19	労働	クレジットカードの受付の仕事をしている。4月の緊急事態宣言後、4月分を除いて現在まで休業手当が払われない。4月はシフトが組まれていたが、5月以降はシフトも組まれておらず、そのためか会社が休業の指示の存在を認めない。5月は有給を使うように言われた。会社は更新していないので、もう雇用契約がないとも言ってきている。
20	労働	パートだが、正社員と差別され、休みを大きく増やされ、給料は無給にされている。
21	労働	シルバー人材から派遣されて働いている。4月下旬～6月下旬、休んでくれと言われて休んだが、休業補償が出ない。その間は収入ゼロ。パート、正社員とシルバーが同じ働き方なのに、シルバーにだけ休業補償がない。年金は妻と2人で月10万円。インターネットが使えない。
22	労働	シルバー人材センターの紹介で働いているが5～6月仕事がなかった。何か補償があるか？
23	労働	数年間、派遣で働いてきたが、「生産減少により雇用終了」という理由で派遣先との契約が終わり、派遣会社から解雇された。
24	労働	整理解雇された。行政の就労支援はないのか
25	労働	大企業の契約社員。1年間の予定で産休中だったのに、急に退職届が届いてサインを求められている。

特徴的な事例

26	労働	派遣労働者。4～5月仕事なくなる。6月よりパート、11月迄の契約。父は寝たきり、母が介護。これからの生活が不安。
27	労働	夫が派遣雇い止め。失業給付と総合支援資金の併用は可か
28	労働	郵便局は人件費削減のため、コロナ危機前から、人員削減が続いてきた。コロナ危機となり、マスクの配達、給付金の問い合わせなど、これまでになかった業務が増えて業務過多状態にあり、それもあって体調を崩して仕事を休んだところ、退職を勧奨され退職届を書いた。自分のが無収入だと、母の年金収入しかなく、この先が不安。福祉課に相談したら「全部無くなってからまた来るように」と言われた。
29	労働	会社に勤務して30年になる。コロナで、従業員が減って忙しくなり、うつ病になってしまった。傷病手当を受給中だが、先日、1年以内に会社へ復帰できない場合は解雇する旨の通知が来た。
30	労働	来年3月末で雇止めになると言われている。貯金もほとんどなく、このままではアパートの更新すらできないのではないか。
31	労働	正社員だが、新型コロナウイルスに感染すると、会社から解雇されてしまわないか不安だ。
32	労働	コロナで売上げが減り、正規からアルバイトにされた。
33	労働	生命保険外交員。顧客との面談ができず自宅待機となって歩合給が減少。
34	労働	正社員だが、5月からテレワークとなったため、基本給の8割のみの支給で8万円くらいになり、生活が苦しい。現在は預金を取り崩して生活している。このままだと不安。
35	労働	医療機関看護師だが、減収により賞与カット+休日を減らす就業規則改正までされ残業も禁止に。仕事量は変わらず。受け入れがたく、みな反対したが、長期間闘争となるのではともいわれ
36	労働	会社から感染拡大地域に行く人は申告するように言われ、その旨申告すると2週間自宅待機をさせられ、その間、無給になると言われている。給与はもらえないのか？
37	労働	マッサージの施術で接触した顧客が相手がコロナに感染し、PCR検査を受けた（陰性）。自宅待機の間部門の閉鎖を決定し、解雇通告された。閉鎖理由として考えられるのは、感染しやすいことと、保険点数が低いので、儲けにならないからではないか。働かないと生活できないので困るし、自宅待機が自分の責任のように言われ納得ができない。
38	労働	バイト先からPCR検査を受けるよう言われたが、費用を請求できるか
39	労働	会社がコロナ対策をしてくれない。同僚はマスクをしていないのがほとんどで、共有の備品の消毒もしてくれない。時差出勤やテレワークもなく、満員電車での出勤を強いられる。飲み会も開催するのを止めない。
40	労働	事業主からマスクをするよう求められるがマスク代は従業員が購入している。事務所で使う消毒液も自分で購入している。アベノマスクは自宅に届かなかった。事業主にコロナ対策のための安全対策をとっていない。自分から取って欲しいと言いたいが、中々いえない。
41	労働	昨年未まで外国にある企業で就業していたが、1月から日本に里帰りし、コロナ感染症の影響で外国に戻れなくなった。外国の企業を紹介した別会社に事情を説明し、他の会社を紹介依頼したが応答なし。待っていても仕方ないので、仕事をしたい。
42	労働	派遣先で感染を広げたら訴えられるか
43	労働	離島でアルバイトをする予定であったが、アルバイト先からコロナの検査を事前に受けるよう突然指示された。バイトが始まるまでに検査を受けることができず、働くことができない。給料の保証もなく、事前に用意した航空チケット等の実費の負担もしてもらえていない。
44	労働	ハローワークの職業訓練も密な環境が怖くて躊躇している。
45	労働	運転手（弟）を雇っているが、給与を出せる状態ではなくなってきている。弟も妻子あり、住宅ローンがあるので、支払ってあげたいが、雇用調整助成金は、弟が身内であるため、支給されない。弟が身内であるため、今から雇用保険か労災に入ろうとしてもだめだった。何か手はないか。
46	生活	3月雇い止め。離婚。面接行くも不採用。手持ち金6万円、税金や国保料滞納し困窮。生活保護を申請した上で再度働きたい。

特徴的な事例

47	生活	50歳男性。派遣会社で働いてきたが、5月に解雇。仕事がないだけでなく、派遣登録も打ち切られた。ハロワークで求職中も仕事がない。できれば働きたい。健康保険は入っていない。母親は80歳で、地方に住んでいて、車で時々行っている。緊急小口資金はもう借りた。住居確保給付金、総合支援資金申請中。
48	生活	50代一人暮らし、男性。約2年前から失業中。これまで貯金を崩して生活してきたが手持ちもわずかになってしまった。フリーペーパーなどで仕事を探しているが見つからない。面接にすらたどりつけない。年金や医療保険料の支払いも滞納が続く。もう生きていても仕方ないと考えてしまう。
49	生活	新型コロナウイルスの影響で職を失った。ハロワークにも行っているが、希望の職種は見つからない。
50	生活	コロナで収入激減。50万円から10万円へ。生保は受けたくないが、利用できる公的貸付制度を教えて欲しい。
51	生活	ホテルの清掃で働いているが、コロナの影響で客足が減少し収入が月2～4万円となり、アパート代が支払われない。
52	生活	数年前雇い止め以降、求職するも仕事がない。同居する母の僅かな年金で生活している。生活保護は受けたくない。
53	生活	残業が減った。残業代分を奨学金の返済に回していたが、返済がきつくなった。
54	生活	子の休校のために欠勤、収入激減、会社は取り合ってくれない
55	生活	ベトナム人留学生。新型コロナウイルスの影響でバイトが減り、月収が10万円から3万円になった。学費を滞納しており、家賃や光熱費は8月以降支払うことができない。
56	生活	58歳女性。准看護師の仕事をしてきたが、業務中に腰を痛めて仕事ができなくなった。年金型の保険を2つかけてきた。亡父名義の家に住んでいる。借金あり、万引きもした。姉とは縁が切れている。
57	生活	60代一人暮らし、女性。低年金を補うためにパートをしていたが失業。生活費の不足分はサラ金から借金している。現在、借りては一部を返済という自転車操業のような状態。持病あるが受診も控えている。もともと年金が少ないのは自分の責任だから仕方ない。
58	生活	71歳男性。母と2人暮らし。母親は厚生年金17万円/月。本人は国民年金で7万円程の収入。母親は脳梗塞で要介護。介護が大変でと特別養護老人ホームに申し込んでいるが、まだ入居の順番来ない。本人は脳脊髄液が減少する病気で、難病のため東京の病院に通っている。障害者手帳申請中。もう介護の限界にきている。
59	生活	以前の職場でコロナ感染者が出てしまい、出勤停止になって退社した。新しい職場に移ったが引越越しなどでお金が掛かり、生活が困窮している。
60	生活	子どもの大学進学について
61	生活	失業して生活の先行きに不安がある。仕事していないことが周囲の目が気になる。
62	生活	腎臓が弱く人工透析を受けている。病気であること、透析による体力低下や労働制限により、十分な仕事ができなかった。去年は心臓の病気で7カ月入院。離婚により妻の収入がなくなって障害年金のみに。国保税や固定資産税の支払いも滞納。所持金は27円。
63	生活	持続化給付金90万円は5月下旬に受領できた。自分は、着物関連の事業を営んできているが、コロナで仕事が減少し、事業収入はほぼゼロになった。娘は、勤務する会社の飲食部門が事業縮小の対象となり、8月いっぱい解雇されることになり、また、飲食店で働く妻には休業手当が払われていない。4人世帯の働き手3人が打撃を受けており、世帯収入が減少。現在、持続化給付金の残りをつないでいるが、これが尽きたら、生活が続かない。自分が生活保護の利用を考える立場になるとは思わなかった。
64	生活	60歳代の夫は夜の接待を伴う仕事で、コロナで休業となった。社協で緊急小口と総合支援をあわせて80万円借りた。8月中旬から夫の仕事が再開となるが、またいつ休業となるかわからないので、総合支援資金の延長貸付を申し込もうと思うが、今後、返済できるか心配。
65	生活	コロナに伴う収入減により家賃支払が困難に。家主に減額を求めても拒否された。簡易裁判所の調停が利用できると聞いたのだが。

特徴的な事例

66	生活	給付金もらい、貸付けも受けたが、もう生活するお金がない。雇用保険も日数が足りなかった。利用できるものは？
67	生保	生活保護を申請したい
68	生保	生活保護を利用している。通院費用を請求したが却下され、説明もない。
69	生保	生保を受給したいが、役所で受け付けてもらえない
70	生保	生保受給中、校正の仕事などをしたいが、資格取得の費用をもらえない
71	生保	自動車運転代行の会社に勤務しているが、休業で、月5万円弱の給与。母や年金で月額7万円程度。生保保護の申請に行ったが、うまくいかなかった。
72	制度	十数年確定申告等を行っていないが、持続化給付金の申請は可能か？
73	制度	「小学校休業等対応助成金」の制度はあるが、勤務先が当該制度の利用を申請しないと決定した。合計14万円ほどの減収となっている。労働者から申請できる制度はないか。
74	制度	2月から民泊の清掃個人請負業を開始。持続化給付金を申請したが書類不備で提出不可能な公共料金領収書の追完を求められた。コールセンターは幾ら電話してもつながらず勝手に切れ
75	制度	4つの仕事かけもち。コロナでシフト入らず収入減少。緊急小口は借りた。借金ではなく、給付制度で利用できるものを教えて欲しい
76	制度	66歳女性。夫と子ども（障害者）の3人暮らし。保険代理店を40年以上してきたが、新型コロナで収入減少。お金を切り詰めれば数カ月の生活が可能。持続化給付金の申請をしてよいか知りたい。またネット環境がないため、申請方法を教えてほしい。
77	制度	コロナによる業績不振を理由とする退職勧奨に応じた。失業保険を受けながら再就職を目指そうと考えているが、他に利用できる制度があれば知りたい
78	制度	スポーツインストラクターとして5か所（委託3、雇用2）で仕事。両方まとめて「給与」所得で申告。会社の健康保険証を添付して持続化給付金を申請したところ、書類不備として提出不可能な国民健康保健証の提出を求められた。説明会場に行っても「分からない」と言われるしコールセンターは全くつながらない。
79	制度	その場しのぎの給付金も有難いが、収入を増やすことができるようになにか良い制度はないか。
80	制度	困窮している際に利用できる制度を知りたい
81	制度	持続化給付金の対象でないといわれ、生保の相談もいった
82	制度	持続化給付金は収入認定されるか
83	制度	貸家からの収入がなくなった。持続化給付金の申請をしたが認められなかった。生活保護は持ち家があるので認められない。
84	制度	知人に。聴いてと言われ電話した。家賃の補助のことが知りたい。
85	制度	賃金が半分になったので社会保険の減免がならないか。
86	制度	特別定額給付金(6未申請) まだ支給されない。コールセンターにかけても繋がらず、5分経てば自動的に切れてしまう
87	制度	労働者に対する給付制度の申請用紙をもらったが、委託や請負ではダメのように読める。自分は何れにあてはまるのだろうか
88	制度	飲食店経営の個人事業主。収入減で家賃支援給付金を受けたい。確定申告していない。持続化給付金も申請受け付けてもらえなかった。
89	制度	コロナで派遣切りにあい、5月～失業保険を受給し、6～8月には、社協から総合支援資金月15万円を借りたが、さらに延長したい。
90	制度	休業支援金の申請受付はいつからか、また、住居確保給付金についても知りたい。
91	制度	総合支援資金3か月間（5、6、7月）借りて、延長するかどうか手紙が来たので、8月に申し込みをしようとしたら、7月31日必着と言われ、申し込みができなかった。
92	コロナ	コロナで不安。性被害に遭った
93	コロナ	コロナ感染のリスクをさけて、仕事を探すいい方法はないか。
94	コロナ	精神科受診中。父親が長期間入院している。病院側が不当に長期化させているのではない
95	コロナ	入院中の知り合いに面会したいが、断られた

特徴的な事例

96	コロナ	感染者やその家族に対する誹謗中傷があまりに酷く、他人だが見かねて相談した。
97	コロナ	新型コロナウイルスが怖くて運転免許の更新を延ばしてもらったが、まだ終息していない。再延長はできないか。
98	コロナ	東京在住。茨城で出産予定の娘の産後を手伝いたいが、2週間ホテルで隔離されれば大丈夫か心配
99	コロナ	娘は母子家庭で子供2人と住んでいる。コロナに感染したらどうしたらいいかわからない。主人も私も病気があって行くことができない。
100	コロナ	岩手県内でコロナ感染者が7人出て不安だ。年齢的にもコロナに感染したら終わりなので、とても怖い。
101	その他	裁判で訴えた相手の収入がなくなりそう
102	その他	臨時国会を開催しないのは憲法違反

国に求めること

No.	分類	国に求めること
1	雇用	インバウンドを推進しているが、現場で働く人の立場が弱いことを知って欲しい。旅行業界は現場の搾取で成り立っている
2	雇用	就労支援を充実させて欲しい
3	コロナ	PCR検査をしないと状況が分からないはず。また、初期に国は「ただの風邪だ」と言い、アベノマスクやG o T oをやって国会を開かないのはおかしい。10万円も足りない。
4	コロナ	コロナに関する費用を国がもっと負担して欲しい。
5	コロナ	とにかく新型コロナウイルスを収束できるように頑張ってもらいたい。
6	コロナ	感染者対応（人数が増えているのに無策）、会社倒産しないよう援助（G o T oではなく）、病院へ行くのを断られないよう支援、満員電車をなくす。
7	コロナ	幅広い業種、いろんな専門家の意見を聞いて欲しい、感染の情報を正確に発信して欲しい
8	生活維持	10万円1回きりでは全然足りない。
9	生活維持	1回の給付金だけでなく、ちゃんとした補償をしてほしい。
10	生活維持	30万円給付してほしい。登録型派遣は不利、配慮してほしい。
11	生活維持	フリーランスや請負で働く人にもしっかりとした支援が届くようにしてほしい
12	生活維持	ベーシックインカムを導入して欲しい、毎月この相談会を開いて欲しい
13	生活維持	もう30万円くれるとか。10万円ではすずめの涙だ。
14	生活維持	もっと支援が必要
15	生活維持	一律給付で継続したものが欲しい。
16	生活維持	家賃や生活のための給付金をもっと充実させてほしい
17	生活維持	休業支援金の制度を拡充してほしい
18	生活維持	給付をもっとしてほしい。
19	生活維持	銀行が、コロナ融資を優先的に取り扱うようにしてほしい
20	生活維持	減収はきちんとカバーして頂きたい
21	生活維持	個人に対する家賃の補助の制度を拡充してほしい。
22	生活維持	個人事業主、労働者への支援は多いが高齢者、特に老老介護者への支援が乏しい
23	生活維持	雇用を維持してほしい。
24	生活維持	国は給付金をもっと出すべきだ。
25	生活維持	生活困窮者に対する手厚い支援をしてほしい。
26	生活維持	生活支援をしっかりとって欲しい。
27	生活維持	生活補最低補償費が実態と合っていない。経済的自立がしやすいようにしてもらいたい
28	生活維持	派遣切りにあつた人に対して収入の補填をすべき
29	生活維持	母子家庭への支援をしてほしい
30	政治	会社や事業主だけを救済するのではなく、従業員、労働者への支援を手厚くしてほしい
31	政治	企業をあてにしないで、国の責任で生活者支援を充実させてほしい。
32	政治	早期対応をすべし。民間の声を聞きながら、適切な予算措置を講ずるべきだ。医療機関への適切な支援を要する。
33	政治	はっきりしなくて納得できないことが多い。
34	政治	バランス良く経済を回して欲しい。
35	政治	末端で影響を受けている人の気持を考えてほしい。
36	政治	メリハリのない政治、自分たちの利益ばかり考えている政治、恥知らず、自分たちの野望のために。イライラする、腹立たしい。美しい言葉ばかり並べて、国民をバカにしていると思う。
37	政治	私はこんなに生活に困っているのに首相がソファに座ってお茶を飲んでいるのはおかしいと思う。
38	政治	何らかの事情で一度つまづいても、やる気があれば再起しやすい社会にしてほしい。
39	政治	原発・もんじゅなどつまらないことに税金を使わないで
40	政治	細やかな説明を。どうしたらいいかわからない。テレビも人数をいっただけでどうしたらいいかわからない。
41	政治	自粛を求めるばかりでなく何をどうすればいいのか役に立つ広報をしてほしい。

国に求めること

42	政治	誰もが雇用につけるように経済をうまく回して欲しい。
43	政治	中途半端。いい加減。継続して支援を。総合支援資金の延長を。
44	政治	的外れではないことをしてほしい。不安になってしまう。
45	政治	派遣労働をなんとかしてほしい。
46	政治	便乗コストカットの動きに指導を。休業補償出し渋り改善。
47	政治	臨時国会を開催して欲しい
48	政治	労働者の実情を考慮した政策を実施してほしい。
49	制度	(特に市町村に対して) 支援の情報を教えて欲しい。
50	制度	「給与」で申告しているフリーランスを持続化給付金の対象にしたのに、国民健康保険証の提出を求めるのは止めて欲しい。
51	制度	GOTO。観光業に対する支援を。
52	制度	GOTOは失政。
53	制度	アベノマスクは無駄なので、他の支援に回して欲しい。
54	制度	オリンピックは延期すべき。コロナの収束を優先すべき。
55	制度	お金(定額給付金)を持続的に出してほしい。世帯ではなく個人個人に出してほしい。
56	制度	お金の問題を明確に。休んでいる人も働いている人も公平に。
57	制度	スマホが使えない人にも情報提供をしてほしい。
58	制度	パソコンがないので申請の方法が分からない
59	制度	もっとわかりやすい制度案内をしてほしい。
60	制度	休業支援金は学生には申請に仕方が分からずハードルが高い。学生への支援金も申請から1か月以上経っても何の音沙汰もない。
61	制度	困っている人の意見を聞いて難しい手続き抜きに支給できるようにしてもらいたい。
62	制度	子どもがいて休業せざるを得ない会社員が自ら給付申請できる制度が欲しい
63	制度	支援先を絞って必要なところに必要な支援が届くようにしてもらいたい
64	制度	持続化給付金の手続きを簡素化して欲しい。
65	制度	助成金の支給をスムーズに行って欲しい
66	制度	制度をわかりやすく広報してほしい。
67	制度	税金の使い方をもっとよく考えてほしい。マスクを配っている場合ではないと思う。国会議員ももっと減らすべき。このようなときになぜ多額のボーナスが出るのか。
68	制度	貸付の基準を緩和してほしい。
69	制度	大学の無償化
70	制度	当初の雇用調整助成金の事業主の不作為の問題と同様で、事業主が助成金申請をしないと、従業員にまで効果が及ばないというのは、制度的欠陥であり、休業支援金のような労働者から申請可能な別の制度の創設してほしい。
71	制度	特別定額給付金はありがたかったが、マスクははなしにならない。もっと簡単に申請できるようにしてほしい。
72	制度	免許の更新期間を延ばしてほしい。
73	早く	もっと早く動いて欲しい
74	早く	今ほしい。とにかく今を凌げば、生活回復できる。
75	早く	出来るだけ早く必要な人に届けてほしい。
76	早く	早い給付。
77	早く	早く給付金支給してほしい
78	早く	対応を早くしてほしい。給付金は再度支給したほうがよい。
79	早く	遅すぎる。死んでしまう。もっとスピーディに。